

(政務活動費用)

(様式1)

出張報告書

平成30年8月10日

鉏路市議会議長 渡辺 慶藏 様

会派名 市政進クラブ

代表者名 松永 征明



次のとおり、政務活動費による出張を終えましたので報告します。

受命者	鶴間 秀典
出張先	北九州市
期間	平成30年8月6日 ～ 平成30年8月8日 (3日間)
用務	全国若手市議会議員の会 研修会
調査(研修) 結果等の概要	別紙報告書参照
備考	

- 注) 1 資料等がある場合、添付すること。資料は、事務局経由で会派へ返却するので、本出張報告書(原本)とともに会派で保管すること。
- 2 調査結果等の概要は、別紙による記載も認める。

平成30年8月 市政進クラブ（鶴間単独）九州研修会 レポート

期間 : 8月6日（月）～8月8日（水）

行程 : 福岡県北九州市

全国若手市議会議員の会・北海道若手議員の会 研修会に参加

8月6日（月）

移動

8月7日（火）

9：30～11：00 「北九州が進めるサブカル政策」

場所：漫画ミュージアム

北九州市は、銀河鉄道999などで有名な松本零士さんの出身地で、北九州市由来の多くの漫画家が活躍しており、それが一つの契機となり、漫画ミュージアムを整備しました。ただ、特筆すべきことは、整備に際し、駅前の長らく空き地だった土地に民間企業のプロポーザルにより、ポップカルチャーの聖地として、あるある City、という複合的なビルを整備したことです。あるある City は、地方都市としては非常に珍しい場所で、漫画を読んだり、AKB48などのアーティストのためのステージがあったり、オタク、の方々には何日いても飽きない場所でした。また、北九州市としては、テナントとしてビルに入居しているだけで、ランニングコストの年間約2億円以外はかかっておらず、また国の補助は入っておらず、非常に経済的にできた施設であると思いました。駅前にこういった、そのまちのオリジナリティーを表現できるような施設を設置できるのはとてもいいことだと感じます。

釧路市でも、釧路駅整備に合わせて、アイヌ文化などのまちとして特徴的なものを前面に出していくべき、と思いました。



ポップカルチャー



木下 斉氏 講演

15:30～17:15 「稼ぐまちが地方を変える」 講師：木下 斉

場所：ミクニワールドスタジアム

事業型のまちづくりを成功させ、全国各地でアドバイスをしている、木下斉さんの講演を聞くことができました。木下さん曰く、行政がまちづくりのための公共施設を整備する際は、建設費に国の補助金などが入るので、かなりがっちりした高い建物になってしまう。その結果、維持管理費がかかりすぎて赤字体質から抜け出せなくなってしまっている。建設から採算度外視で建ててしまうからこういうことになるのだから、最初から民間に任せてしまえばいい。今までの基本計画、実施設計、民間企業を公募、などの流れではなく、民間を計画段階から入れて計画してしまい、それに合わせて都市計画なども変更すべきで、議会はその流れに反対せず、後押しすべきである、とのことでした。全くごもつともです。博物館や役所などの行政施設は仕方ないとしても、観光関連施設や港湾施設などはしっかりと採算を考え、民間にアイデアを最初からもらいながら建設すれば、安価でしかも使い勝手がいい施設ができあがるのではないのでしょうか。また、国の助成金が民間の発想をつぶしている、とも言っていました。国の補助メニューに沿ってNPOなどを立ち上げると、その運営にさらに国の助成金が必要になる。そのうちだんだんやるべきこと、当初の目標が見えなくなり、補助メニューに沿った目標にすり替わってしまい、まちづくりにとってプラスにならなくなる、ということでした。これも非常に参考になりました。

稼ぐまちを目指して、私も別の発想や考える角度を持つべきである、と感じました。

8月8日（水）

10:00～11:00 「洋上風力発電拠点化事業」

場所：北九州市役所

北九州市は洋上風力発電の拠点を作ろうとしていました。北九州市は環境モデル都市に指定されており、以前からエコポートとして、PCBなど様々なもののリサイクルに取り組んでいます。洋上風力発電は世界的にも導入量が増加しており、平地の少ない日本ではこれから洋上風力発電が期待できる、というところに目をつけていました。民間の投資も呼び込みながらグリーンポート事業を進め、それを足掛かりに、洋上風力発電の総合拠点化に取り組んでいます。総合拠点とは、洋上風力発電の資材の製造、メンテナンス、保管、輸出などすべてのことを一貫して実行できる拠点であり、全国の風力発電をカバーしようとしていました。洋上風力発電の設置には、港湾法や漁業権などが障壁となってきそうですが、可能背は大いに感じました。

釧路の海は海溝があり、洋上風力発電の設置には向かないかもしれませんが、総合拠点には向いているかもしれません。可能性について、早期に研究すべきと思います。

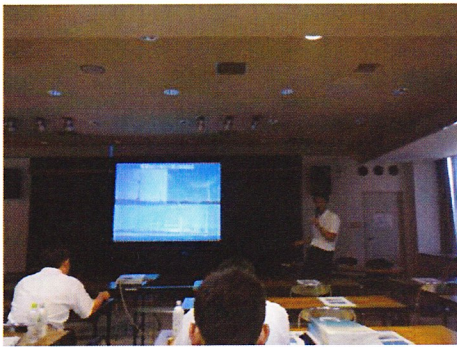
11:00～12:00 「北九州市フィルムコミッション」

場所：北九州市役所

北九州市では、フィルムコミッションの専門部署を市役所内に設け、積極的に国内外の映画やドラマを誘致し、実績を挙げていました。

制作側にとってフィルムコミッションの専門部署があるということは、そこに頼めばさまざまな手続きを一手に引き受けてくれるので、撮影がとてもスムーズに進み、まちの中心部を大胆に使った撮影やエキストラの手配も容易であることなど、可能性も広がります。受け入れる市側にとっても、観光PRにもなりますし、スタッフの宿泊や飲食などの直接的な経済効果もあるので、市民の理解を得やすく、市のイメージアップにつながっていました。

釧路市でも観光部署と兼務でもいいので、フィルムコミッションが存在するということを明確にすべきと感じました。



洋上風力発電



フィルムコミッション